

令和8年度 学校経営計画

学校名	石川県立金沢伏見高等学校
校長	松本 雅光

1 教育目標

誠実、聡明で品位があり、論理的な思考力や創造力を身に付けた、社会に貢献できる心豊かな人間の育成をめざす。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 生徒の進路志望が多様である状況をふまえ、生徒一人ひとりの学力の向上、進路指導の充実に取り組んでいる。普通科高校として国公立大学等への進学実績を高めるとともに、地域で活躍できる人材の育成に努めている。
- ② 明るく素直な生徒が多く、学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等様々な教育活動をとおして、自己肯定感を育てている。

(2) 生徒の望ましい在り方

- ① 自分で考え、自分で判断し、自分の行動を自分で決定し、責任を持つ力をつける。
- ② 規律ある高校生活を送る中で、将来、社会に貢献でき、心豊かな生き方ができるような資質を身に付ける。
- ③ 学ぶことの意義を理解し、授業を基本としながら、家庭学習習慣の確立を図り、学力の向上に努める。
- ④ 生徒会活動や部活動、学校内外の行事や体験活動をとおして、主体性、協調性、ボランティア精神を培う。
- ⑤ 自身の興味・関心、能力、適性を知り、進路目標を設定し、その実現に向け努力、挑戦し続ける。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 本校の使命を共有し、教育活動の全体像をとらえ、組織的・機動的に学校運営に参画する。
- ② 教材と指導法に関する研究に励みつつ、公開授業や授業評価等をとおして互いに高め合い、授業改善を進める。
- ③ 多様な進路志望に応じた指導法の研究を重ね、生徒一人ひとりの希望が叶うよう寄り添い支援する。
- ④ 学校の教育活動を保護者・地域・中学校等に積極的に広報し、地域から信頼される魅力ある学校づくりに努める。
- ⑤ 危機管理の意識を高め、不測の事態においても適切に対応できる実践力ある組織となる。
- ⑥ ワークライフ・シナジーを高めながら、教職員が互いに認め合い、支え合い、補い合うことをとおして、より効果的な教育活動を行う。

3 今年度の重点目標

- (1) 生徒が自己実現に向け、失敗を恐れずに多様なことに取り組めるよう、教職員は安心・安全で温かみのある教育環境づくりに努める。
- (2) 生徒が学習意欲を高め主体的に学ぶ方法を見つけられるよう、教職員は様々なICT機器を活用した評価の研究を進め、その成果を指導方法の改善に生かす。
- (3) 生徒が十分な情報をもとに、自ら考え、選択し、進路を決定できるよう、教職員はキャリア教育の充実に努める。
- (4) 教職員は、生徒が生徒会活動・部活動・学校内外の行事・体験活動をとおして自己肯定感を高められるよう支援する。
- (5) 教職員が組織的かつ協働的に業務に取り組むことにより、教育活動全般の効果と効率を高める。
- (6) 教職員は、担当する教育活動の成果等について、学校のHPや印刷物等を活用して、保護者や地域に対し迅速かつ分かりやすく発信する。